

泌尿紀要
Acta Urol. Jpn.

Vol. 30, No. 12 ACTA UROLOGICA JAPONICA December 1984

泌尿器科紀要

第30巻 第12号 1984年12月

動物性蛋白摂取の尿中結石形成因子におよぼす影響に関する研究	西井 正治	1737
尿路性器悪性腫瘍のヌードマウス異種移植の研究 移植成績と移植組織の性状	岡田謙一郎・吉田 修	1749
腎疾患のCT診断	高井 計弘・ほか	1769
Double pigtail ureteral stent の使用経験	中嶋 久雄・ほか	1777
好酸球性膀胱炎の臨床研究 その1 好酸球性膀胱炎の定義に関する検討 1 好酸球浸潤に関する組織学的検討	山田 哲夫・田口 裕功	1781
膀胱腫瘍再発時における悪性度の変化および予後	内田 豊昭・ほか	1785
高齢者膀胱癌の治療成績	井坂 茂夫・ほか	1793
Cis-Diamminedichloroplatinum の 進行性前立腺癌に対する臨床的検討	奥村 哲・ほか	1801
後腹膜嚢胞の1例	山口 一洋・ほか	1809
自然破裂1例を含む腎血管筋脂肪腫の2例	天野 正道・ほか	1813
膀胱と両側腎盂に発生した尿路悪性腫瘍の1例	沼里 進・ほか	1827
膀胱マラコプラキアの1例	幸田 憲明・ほか	1835
小児に見られた精囊および射精管結石の1例	内島 豊・ほか	1843
アレルギー性肉芽腫性前立腺炎の1例	池本 庸・ほか	1851
巨大前立腺肥大症の1例	川村 繁美・ほか	1861
女子傍尿道平滑筋腫の1例	小川 修・ほか	1867
根治術施行後の組織欠損部の修復に筋肉皮弁を用いた進行性 陰茎癌の1症例 (英文)	岩田 真二・ほか	1873
東海大学医学部泌尿器科学教室における手術統計 (1982年1月~1984年3月)	長田 恵弘・ほか	1879
愛知県厚生連更生病院泌尿器科における 1975年度~1982年度の8年間の臨床統計	和志田裕人・ほか	1885
三重大学泌尿器科における外来・入院患者由来尿中分離菌の変遷	山崎 義久・ほか	1899
泌尿器科紀要30巻 総目次・物件索引・人名索引		i ~ xxxxxiii

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto Japan 606
京都大学医学部泌尿器科学教室

購読要項 (1983年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料6,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

投稿規定 (1983年8月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
 - (1) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文7頁(400字×28枚程度)図(Fig)10枚、表(Table)5枚までとする。
 - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
 - (3) 原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名の順に和文で併記する。下段に筆頭著者名(山田：または 山田・ほか：)と、2語(例：前立腺がん・PSAP)からなる running title および5語(英文)以内の key words を付す。
 - (4) 英文抄録：本文とは別に標題、著者名、所属機関名、抄録本文の順にダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
 - (5) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
 - (6) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μ g, %, °C, pH などとする。
 - (7) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はトリミングする。説明文は一括して記載し和文、英文を問わず Table 1., Fig. 2. などとする。英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。とくに図・表は必ずタイプまたは楷書で清書し、誤りのないことを確認する。とくに、著者校正時、表中の数字の訂正をされないように願います。様式については本誌の図・表を参照する。
- (6) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用箇所を本文中に入れる。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文はタイプする。
(例：山田^{1,3,7)}, 田中^{1,3-10)}によると)
雑誌の場合—著者名(全員)：題名、雑誌名
巻：最初頁～最終頁、発行年
単行本の場合—著者名(全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年
- (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
- (8) 投稿原稿は編集委員会においてその採否を決定し、それに従って編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。
- (9) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部がおこなう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。
3. 掲載
 - (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
 - (2) 紙代、印刷費および最初1頁の組版費は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後におこなう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などにかんする研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
4. 別刷

実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

宮崎 重 新谷 浩
吉田 修(主 幹)